事務事業マネージメントシート

政策名 1 施策名 6 関連個別計画 法令根拠	6 生涯スポート 1 国市補助金等交付	」~豊かなこころ ツ・レクリエーシ 付規則			_	教育委員会 スポーツ振興課 指導係 計画重点事業)				
施策名 6 関連個別計画 法令根拠 真[6 生涯スポート 1 国市補助金等交付	ツ・レクリエーシ			_					
関連個別計画 法令根拠 真原	[岡市補助金等交 [ョンの振興		□ 戦拡(総合	戦略拡充事業)				
法令根拠 真		付規則								
14 17 12/2		付規則			- 	□ 単年度のみ				
予算科目 1	1 _ 你 △ ≒ ↓				事業期間	□ 毎年度実施(開始年度 平成20 年度~)				
	1.一般会計	10.教育費	5保健体育費	1保健体育総務		□期間限定複数年度(年度~年度)				
予算科目										
予算科目	İ									
験と PR 栃木	真岡市は、「市民ひとり1スポーツ」をスローガンに体力の向上に努めており、特に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることは、必要不可欠なことなので、栃木SCの豊かな経験と卓越した技術をもとに、本市の子どもたちに夢を持つことの大切さ、フェアブレー精神の重要性など、ブロの選手に直接触れることで伝えられるとともに、栃木SCの支援、更に本市のPRを実施している。 栃木SC支援真岡市実行御委員会を組織する。 事業内容・少年サッカー教室の開催(栃木SC選手による指導及びサイン会等) ・真岡市民デーの開催(栃木SCのホームゲームでの公式戦観戦及び真岡市のPR・物産販売等)									

		な活動	部 (1)事務事業の目的	, , , , , , ,		(4)活	動指	標(事務事業の活動量を表す	指標)の推	移					
4年度実績					名称					31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績) 5 年度(見込		
実行委員会の開催 少年サッカー教室の開催 真岡市民デーの開催 5年度計画 前年度と同様				ア	交付金	金額		千円	600	600	600	600	600		
				1	実行委員会開催数		回	2	2	2	2	2			
				ゥ	少年1	ナッカー教室開催数		回	1	0	0	1	1		
				I											
				オ											
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					⑤対	象指	標(対象の大きさを表す指標)の推移							
	児童・生徒 中伝表点の				-	:	名称		単位	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込	
実行委員会					7 	ア 児童・生徒 人			٨	6,761	6,634	6,565	6,477	6,364	
				イ 実行委員会の人数			٨	15	15	15	15	15			
				ゥ 											
					Ξ										
2 = 1						オ	· m +b.	ᇑᄼᆋᅀᇨᆉᄔᅩᄀᅔᄧᄀᆉᄭᄼ	込み の和中	D##1	()				
			によって、対象をどう変える			<u>Брх</u>	(未括)	漂(対象における意図された 名称	対象の程度			2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(見込
サッカーを通して、少年スポーツ人口の底辺拡大を図る。 市民デーの開催により、真岡市のPRの場となる。					ア 市民デー参加人数			人	320	487	490	464	600		
				1	イ 少年サッカー教室参加人数			٨	163 0		0	19	200		
				Ď											
					I										
						オ									
(2) #	(2) 総事業費の推移 単位 31 年度(実績))	2 年度(実績)	3	年度(実績)	4 年度	(実績)	5 年/	度(見込)	
投入量			国庫支出金	千円	0		0	0			0		0		0
	事業費	財財源内	県支出金 	千円				0		0			0	300	
			地方債 	千円				0			0	0			
			その他	千円	0			0			0	0		0	
			一般財源	千円			600	600			600		600		300
事業費計(A)				千円	600			600		600		600		600	

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 ①政策体系との整合性 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か? (評価理由) 市民ひとり1スポーツの振興及び心身ともに健全な少年スポーツの振興に結び付く。 目的妥当性評価 ②公共関与の妥当性 □ 見直し余地はない □ 見直し余地がある 市が事業に関与する必要があるか? (評価理由) 市民ひとり1スポーツの推進、少年スポーツの振興及び真岡市のPRは、市の責務である。 ③対象と意図の妥当性 □ 対象・意図を見直す必要はない ■ 対象を見直す必要がある ■ 意図を見直す必要がある ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か? (評価理由) ・対象を限定・追加する必要があるか? 生涯スポーツの振興を図っている。 ・意図を限定・追加する必要があるか? ④成果の向上余地 □ 向上余地はない □ 向上余地がある ・成果を向上させる余地はあるかどうか?ない場合の理由は適切か? (評価理由) スポーツの振興と市のPRを行っている。 ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? **有効性評価** ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名: ・類似事業はないか、統合や連携はできないか? ■ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名: ■ 類似事業はない (評価理由) ⑥事業費の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか? (評価理由) ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか? 交付金のみであり、必要最小限の経費である。 効率性評価 3. 改革・改善方向の部 (1) 改革の方向性(改革案・実行計画) (3) 改革・改善による期待成果 □ 廃止 □ 見直し(□:目的妥当性 □:有効性 □:効率性) □ 統合 □ 継続 維持 増加 削減 向上 成果 維持 (2) 課題、課題の克服の方向性 低下 4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性) □ 記述説明不足(説明責任不充分) □ 評価内容が客観性を欠く □ 評価内容は客観的と言える (1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 (2) 2 次評価者としての評価結果 (5) 改革・改善による期待成果 ①目的妥当性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり ②有効性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり □ 適切 □ 見直し余地あり 維持 増加 削減 (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 (4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 向上 □ 廃止 □ 休止 □ 目的絞込み □ 目的拡充 成果 維持 □ 事業統廃合 □ 事業のやり方改善 低下 □ 予算削減 □ 予算増大 □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)